

(9) スポーツ施設

再編方針	<p>◆鎌倉体育館は津波想定浸水範囲外へ移転するとともに、大船体育館との統合により、拠点施設として総合体育館（屋内プール併設）を整備し、防災機能も備えたサービスの充実を図る。</p> <p>◆地域のスポーツニーズに対応できるよう、学校の地域開放の運営を見直す。</p>
------	--

再編内容	<p>短期 (H26～H31 対応分)</p> <p>・地域のスポーツニーズに対応できるよう、学校の地域開放の運営を見直す。</p>
	<p>中期 (H32～H37 対応分)</p> <p>・鎌倉体育館、大船体育館、鎌倉海浜公園水泳プールを集約し、深沢地域整備事業用地に総合体育館（屋内プール併設）を新設する。(PFI 事業等で整備・運営)</p>
	<p>長期 (H38～H65 対応分)</p> <p>・その他のスポーツ施設の将来的なあり方を検討する。</p>

再編によるコストの削減効果等	<p>図表 スポーツ施設の規模の推移</p>				
		現状	短期 H31年度末時点	中期 H37年度末時点	長期 H65年度末時点
	施設数	19	19	15	15
	体育館	4	4	3	3
	プール	2	2	1(1)	1(1)
	学校プール	13	13	11	11
	施設面積	31,015㎡	31,015㎡	26,011㎡	26,011㎡
	<p>※スポーツ施設の配置等に伴い、学校プールの段階的縮小を図ることから、学校プールをスポーツ施設として試算。 ※学校プールの面積は施設面積に675㎡(30m×22.5m)を加えた面積と仮定。 ※総合体育館(屋内プール併設)の施設面積は、8,000㎡と仮定。 ※プールの施設数の(1)で示すものは総合体育館に併設するプール。 ※こもれび山崎温水プールは、平成31年度のPFI事業契約終了後も事業を継続すると仮定。</p>				
	<p>図表 スポーツ施設のコスト（累計）</p>				(百万円)
			短期 H26～H31 (6年間)	中期 H26～H37 (12年間)	長期 H26～H65 (40年間)
従来型コスト	$A=a+b$	1,632.1	3,828.7	17,061.2	
建設	a	71.1	706.7	6,654.5	
管理運営	b	1,561.0	3,122.0	10,406.6	
再編後のコスト	$B=c+d+e$	1,632.1	4,642.4	14,354.9	
建設	c	71.1	1,799.2	7,198.8	
管理運営	d	1,561.0	2,961.1	8,667.4	
借地料	e	0.0	▲ 117.9	▲ 1,511.3	
コスト削減効果	$C=A-B$	0.0	-813.7	2,706.3	
削減率	C/A	0.0%	-21.3%	15.9%	
<p>※総合体育館はPFI事業で整備・管理運営を行うものとし、先進事例を参考にVFM20%と仮定。 ※借地料収入は建設及び管理運営に係るコストに対してマイナスとなるため、数値に▲をつけて表記している。</p>					

